



頭脳交換会 in いすみ（同市初開催！）

なみへい合同会社（川野真理子代表）は「平成 30 年度いすみ市地域の魅力活用及び情報発信業務」受託者となり、いすみ市で「頭脳交換会」を開催いたします！ 当日は地元いすみ市や茂原市などから、朝市をはじめ、「食」や「農」に関わる人々 5 組が相談者となり、それぞれの課題に対し、参加者全員で知恵やアイデアやアドバイスを出し合う＝頭脳を交換し合います。相談者の喜びはもちろん、知恵を出す側も「異業種の人の役に立てる！」感動を味わえることでしょう。司会進行は、NICE（ナイス）代表の増田紀彦氏が務めます。事業や家業、地域活性に取り組む方、仲間と出会いたい方、将来移住や副業をお考えの方（いすみ市に限らず）、いすみ市へ行ってみたい方、とにかくいすみ市が好きな方などが学び合い、知恵や志を交流する機会。どうぞふるってお越しください。地元のみなさんも全国からの応援も大歓迎です。どなたでもご参加いただけます。

- ◆開催日時：2018 年 6 月 30 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分（受付開始 13 時）
 - ◆開催場所：いすみ市役所内会議室 〒298-8501 千葉県いすみ市大原 7400-1
 - ◆プログラム：頭脳交換会 5 組の相談 & 参加者全員で知恵出し大合戦（司会進行：増田紀彦氏）
 - ◆参加費：資料代として 500 円
 - ◆懇親会：自由参加、「太陽と星が輝く宿 季楽」にて 〒299-4507 千葉県いすみ市岬町谷上 2572 番 7
- ※大原駅・会場の市役所から車で約 30 分 懇親会参加費 6,000 円、懇親会 & 宿泊セットで 13,000 円
（1 棟丸ごと借り、庭でアジアンバーベキューを楽しみます。宿泊は先着 25 名まで。個室はありません。男女別相部屋です。）

【参加お申込み】

web フォーム <https://ws.formzu.net/fgen/S59140098/> または FAX にて事前お申込みをお願いいたします。

◆FAX なみへい 03-6666-5964

お名前	フリガナ：
現住所	〒
携帯電話	
懇親会	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> しない
懇親会宿泊セット	<input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> しない

【主催・お問い合わせ】なみへい合同会社（平成 30 年度いすみ市地域の魅力活用及び情報発信業務受託者）

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 4-2-6 神田 GM ビル 1F

TEL.03-6666-5963 FAX.03-6666-5964 [✉ wave@namihei5963.com](mailto:wave@namihei5963.com) <http://www.namihei5963.com/>

【協力】一般社団法人起業支援ネットワーク NICE

〒152-0001 東京都目黒区中央町 2-6-8-1F <http://www.nice.or.jp/>

※当日の活動の様子の写真（個人が特定できる写真含む）は、HP、SNS 等公に掲載することもあります。
予めご理解のうえ参加願います。

【当日の相談者】

① いすみ市商工会長 出口 幸弘 さん

いすみ市の基幹事業である「港の朝市」の運営委員長でもある傍ら酒屋を経営。地域経済の向上に日々奮闘中。

～テーマ～

5年目を迎えた港の朝市の今後について。

港の朝市は周知され、以前に比べると朝市ファンは増えている。しかしながら、リピーターは横ばい傾向、新規のお客さんは伸び悩んでいるので、どうすればリピーターが増え、新規のお客さんも増えるのか？

② いすみ竹炭研究会 代表 西澤 真実さん

いすみ市で里山などの竹林整備をしながら、竹炭を作り土壌改良をしています。自然と共生する取組、竹林を整備、土地改良をして土地を良くする活動を行っています。

～テーマ～

いすみのために立ち上がった救世主、いすみ竹炭研究会をご存じですか？脱臭効果や田畑の肥料になる優れたものののに、知名度が低い。もっと普及させるためには？

③地域起こし協力隊 椎葉 康祐さん

旅する料理人。東京練馬生まれ、宮崎育ちの26歳。日本貿易振興機構（JETRO）にてルワンダ ICT ビジネス支援担当後、地域起こし協力隊制度を活用し、千葉県外房のいすみ市に移住。国内外を旅しながら、ルワンダ料理、マクロビオティック料理（自然菜食）、発酵食を紹介する料理会を開催。千葉県いすみ市、宮崎県椎葉村、アフリカルワンダにて「農村体験民泊」立ち上げ準備中。2017年11月より、「ルワンダ農村体験ツアー」を不定期開催。

～テーマ～

「食」と「農」の大切さや豊かさをよりたくさんの人たちに伝えるためには何をすればいいか？

④生産者 農園タロとあき 青木 太郎さん

前職はエンジンや農業機械などの開発者。09年、脱サラして単独で千葉県香取市にて就農。七年後に妻の実家へ婿として入ることになり、いすみ市へ移住。妻と二人で耕作するようになる。婿入りとは言え、農業で生計を立てていた家ではないので、竹林を畑に復原開墾するところからの再出発。現在三年目。

～テーマ～

もうここ日本じゃないかも。増え続ける外来生物の驚異に晒される農業。どう減らす？それとも上手に共存できるか？

⑤オーナーシェフ ペッシェアズーロ 池田 征弘さん

イタリア料理、ペッシェアズーロのオーナーシェフ。いすみ鉄道専属シェフ、大多喜ガス料理教室特別講師、いすみの伊勢海老の全国発信を企み、テレビでは「食彩の王国」、「ごはんジャパン」。新聞では「日本経済新聞」など各メディアで掲載し発信。伊勢海老を使用したレシピの数はなんと100品以上。いすみ食材をこよなく愛しています。

～テーマ～

いすみ市とその近隣地域の連携での郷土創作料理の発展と発信の仕組みづくりに必要なものとは？必要な人とは？